

審査・選考の観点

研究主題 学校の実態を踏まえ明日の教育を考える

審査の観点 I

- 1 現代の教育課題を適切に取り上げているか
- 2 教育課程上適切に位置づけられ、授業の改善に資するものとなっているか
- 3 子どもの主体的な変容・発達の姿が見られるか
- 4 理論と実践が一体となった研究であるか
- 5 その研究内容は価値が高く、他の学校でも活用できるか

審査の観点 II

- 1 論旨や意見は明確であるか
- 2 論文の展開や文章の構成は筋道立っているか

(作成者は論文を書く前に必ずお読みください)

別 紙 2

論文の書き方

1 研究主題

論文の主題は、「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な研究主題を決めて論文をまとめることとします。

2 用紙及び論文量

論文の作成は原則としてワード等を使用してください。

指定の原稿用紙はありませんので、下記のとおり設定の上論文等を提出してください。

(ア・イともに必須)

なお、電子データ (CD-ROM 等) を併せて提出してください。(ア・イはそれぞれ別のファイルで作成してください)

(1) 要旨

様式は 48 字×43 行×1 段組×A 4 判 1 ページ横書きとします。

執筆者の氏名・所属学校・役職・研究主題・研究の要旨をまとめてください。

(2) 本文

様式は 24 字×43 行×2 段組×A 4 判 4 ページ横書きとします。

本文の他、この中に研究主題・執筆者の記載欄 (24 字×6 行×2 段組・下記③参照) 及び図表・写真等の資料を含みます。

なお、図表・写真等の資料を掲載する場合は、A4 判 1 ページ程度以内の分量に収めてください。

3 論文の書き方

(1) 論文は横書きとします。

(2) 文字は常用漢字、現代かなづかいを使用してください。

(3) 原稿の 1 枚目 6 行は段組みせず研究主題及び執筆者名をお書きください。

なお、執筆者名記載については次のとおりです。

① 学校の場合は、学校名及び校長名

② 団体の場合は、団体名及び代表者役職・氏名

③ グループの場合は、グループ名及びその代表者役職・氏名

④ 個人の場合は、所属学校名及び役職・氏名

(4) 小見出しや文章の書き出しの前は、ひとマスあけてください。(レイアウト等については日教弘教育賞教育研究集録を参考にしてください。なお、集録は日教弘ホームページに公開してあります。)

(5) 図表・写真等の留意事項

掲載する図表・写真は、「教育研究集録」作成時に図表等が見にくくならないように配慮してください。必ず論文内に貼り付けまたはデジカメ等で取り込んで完成したものにしてください。

また、論文は電子データ (CD 等) を併せて提出してください。